

資料(1)

9587

資料1~4

8分冊より構成

第10回農林業協力プロジェクト・リーダー会議

第7回農林業協力プロジェクト技術者連絡会議

昭和56年2月

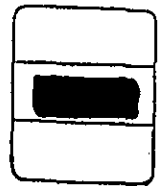
国際協力事業団

農林水産計画調査部

農業開発協力部

林業水産開発協力部

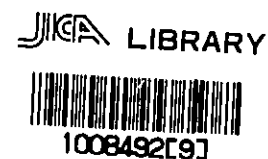
JICA
L000
80
AF
LIBRARY



国際協力事業団	
受入 期日 84.9.3	L000
503.5	-80-
登録No. 14620	AF

目 次

	頁
1. 昭和55年度農林水産業関係協力事業の実施状況について	1
2. 昭和56年度予算（政府原案）について	2
3. 農林水産業3部事務分担表	4
4. 第10回農林水産業協力プロジェクトリーダー会議実施要領(案)	11
5. 第7回農林水産業協力プロジェクト（伐木集運材分野）技術者連絡 会議実施要領	14
 (参考図表)	
1. 主要事業予算の推移（農林水産3部関連）	17
2. 主要事業量の推移に関する指標	18
3. プロジェクト方式技術協力事業（農林業協力、産業開発協力、技術 協力センター）	19
(1) プロジェクト方式技術協力位置図	19
(2) 農林水産業関係終了プロジェクト一覧	20
(3) プロジェクトの運営状況	21
(4) 長期派遣専門家の分野別所属先別構成	29
(5) 技術協力プロジェクトに関する無償資金協力	30
4. 昭和55年度開発調査事業位置図	31
5. 農林業開発協力事業及び開発投融資事業	32
(1) 昭和55年度開発協力事業位置図	32
(2) 開発投融資事業実績	33
6. 専門家の養成研修及び確保実績	34
7. 昭和56年度予算（政府原案）について	35
(1) 昭和56年度国際協力事業団予算の概要	35
(2) 昭和56年度農林水産業関連予算概要（増減要因）	36



1. 昭和55年度農林水産業関係協力事業の実施状況について

近年の農林水産業協力は、①アジアを中心としつつも南米、アフリカ等協力対象圏域の拡大、②協力分野の多様化と地域総合開発的アプローチの増大、③相手国負担が原則とされているプロジェクトのローカルコストに対する支援の強化、④政府ベースの1号業務のみならず民間の協力事業を支援する3号業務、海外移住事業としての4号業務、さらには無償資金協力事業等各種の協力手段を連携づけた多角的協力といった方向を強めつつあるが、昭和55年度の農林水産業関係協力事業の実施状況は以下のとおりである。

(1) プロジェクト方式技術協力事業

ア) 政府ベースによるプロジェクト方式の技術協力は、昭和55年12月末現在で19か国41プロジェクトとなった。

イ) これらのうち、インドネシア・作物保護及び同リモートセンシング、タイ・カセサート大学(研究)、同雑草研究及び同沿岸養殖開発の5プロジェクトが本年度新たに発足し、この他に年度内にはインドネシア・かんがい排水施行センター、タイ・カセサート大学(普及)、エジプト・米作機械化及びペルー・野菜流通改善の4プロジェクトの発足が見込まれており、本年度末には合計45プロジェクト(対前年度比7プロジェクト増)になることが見込まれている。

ウ) 本年度中にこれらのプロジェクトに派遣される専門家は長期、短期を合せて約370名、カウンターパート等の研修員受入は約120名、機材供与は約28億円となるものと見込まれる。

エ) また、本年度派遣されるプロジェクト関係の調査団は、事前調査12件、実施協議10件、実施設計5件、計画打合せ11件、巡回指導18件、エバリュエーション7件、基礎調査4件の合計67件となる予定である。

(2) 開発調査事業

ア) 開発途上国の公共的な開発計画の立案、有償、無償の資金協力事業等に寄与することを目的とする開発調査事業については、近年、要請件数が著増している。

本年度における農林水産業関係の開発調査は開発マスタープランの作成、フィージビリティ調査32件、林業及び水産資源調査6件、無償資金協力に関連する特別案件調査10件の合計48件の実施が見込まれている。

イ) 中国において、農林関係ではじめての協力が開始された。これは中国が独自に開発を進めている黒竜江省三江平原の一部の竜頭橋区(約4万ha)において地域開発のモデルとして協力をすすめるものである。

また、フィリピンにおいては、世界的な石油価格高騰に対

処するためバイオマスによる代替エネルギー開発を目的としたアルコガス調査が実施され、タイにおいては農民組織の育成・強化の調査が昨年引続き行われた。

(3) 開発協力事業及び開発投融資事業

ア) 民間の海外における農林業開発事業の支援・促進を目的とする、いわゆる3号業務については、本年度民間による開発の可能性等を調査する開発基礎調査18件、事前及び事後の投融資審査等調査5件、合計23件の実施を予定しており、既進出企業等に対する技術指導には17名の専門家を派遣するとともに、海外からの研修員を21名受入れる予定である。

イ) 開発投融資事業では、主として近年の国際経済の状況から、全体としては依然停滞傾向を脱しているとは言えないものの、本年度は昭和55年12月末現在で5件11億7千万円の融資承諾を行い、18件7億6千万円の貸付実行を行った。

ウ) 日伯農業開発協力事業(セラード農業開発)は実施二年目に入り事業は本格化し、約6万haに及ぶ土地の選定・取得は完了し、イライ、パラカツの両地区の入植も順調に進み一部では大豆などの作付も行われた。

本事業に対する当事業団の支援措置としては本事業に必要な41億円の融資承諾を行った他、栽培の専門家2名を派遣しており、今後も調査団、専門家の派遣を行う予定である。

エ) また、農協間協力として毎年行っている日タイ農協間の研修員受入については、必要な経費の全額を事業団負担とし、前年度に引続き15名の受入れを実施した。

(4) 専門家確保、及び専門家養成研修事業

ア) 本年度の農林水産業分野の専門家確保事業については、特別嘱託として延25名の確保を予定するとともに、海外長期研修及び中期研修を修了した者を中心として新たに49名の専門家登録を行った。

また、専門技術嘱託として全体で3名のうち農林水産業分野で1名の委嘱を行った。

イ) 専門家養成研修事業については、国内において技術的蓄積の乏しい熱帯畑作分野を重点として海外長期研修を9名、国内長期研修を5名、海外中期研修を15名、国内中期研修を45名につき実施を予定している。

2. 昭和56年度予算(政府原案)について

昭和56年度国際協力事業団予算のうち、農林業協力費、産業開発協力費、技術協力センター費、開発調査費及び専門家養成確保費に係る農林水産業関連予算の概要は以下のとおりである。

(1) 農林業協力費等

ア) プロジェクト方式による農林水産業の技術協力の大宗を占

める農林業協力費は57億6千万円（対前年度9.9%増）となった。

増加の主な要因は、プロジェクト数の増加に伴う派遣専門家数、機材供与費等の増加に加えて、専門家派遣に係る諸手当及び現地業務費の充実、中堅技術者養成対策費の件数増等が図られたことによる。

イ) また、新規項目として「視聴覚等教材整備費」等の国内支援体制強加に必要な経費及び終了プロジェクトに対するアフターケア等の経費が措置された。

ウ) 産業開発協力費及び技術協力センター費のなかで、農林水産業関連として、それぞれ約2億5千万円、約3億6千万円の経費が見込まれている。

(2) 開発調査費

開発調査費は全体として、115億4千万円（対前年度12.2%増）となったが、このうち、農林水産業関連では特別案件調査を除き約17億6千万円が見込まれているが、食糧増産、林業、水産資源の維持培養等に関する開発途上国の強いニーズを背景として本年度と同様これを上回る執行が見通される。

(3) 開発協力費

開発協力費は全体で約7億1千万円となった。このうち、農林水産業関連では4億2千万円が見込まれている。

(4) 専門家養成確保費及び専門家等福利厚生費

ア) 専門家養成確保費は、農林水産業関連を含む全体で6億3千万円（対前年度17.5%増）となった。

イ) 専門家等福利厚生費は全体で3億円（対前年度19.7%増）と大幅に増加した。主な増加要因としては、専門家に対する健康相談巡回指導の充実が図られ、また新規に専門家の派遣前健康診断費が措置されたことなどがあげられる。

3. 農林水産3部事務分担表

(1) 農林水産計画調査部

職 名	氏 名	所 掌 業 務
部 長	本 橋 馨	農林水産業開発に関する技術協力及び開発協力に係る専門的事項、その他特命事項に関すること。 農林水産業関係専門家の養成確保及び処遇に関すること。 農林業協力基礎調査（国別事後調査等）に関すること。 農林業開発協力に関する調査
次 長	野和田 光 一	
調 査 役	諏 訪 龍	
部 付	須 長 昭 治	農林業開発協力に関する調査
農林水産計画課		<ul style="list-style-type: none"> (1) 農林業開発（水産業を含む。以下同じ）に関する技術協力及び開発協力の企画及び調整に関すること。 (2) 農林業開発に関する技術協力及び開発協力の調査に係る計画に関すること。 (3) 農林業開発に関する技術協力及び開発協力の効果の評価に関すること。 (4) 農林業開発に関する技術協力及び開発協力の予算に関すること。 (5) 専門家に係る給与、諸手当等の支払、福利厚生、その他庶務的事項に関すること。 (6) 他の課の所掌に属さない事項に関すること。
課 長	小 林 正	農林水産業3部に係る予算の執行管理に関すること。 管理的経費の計画及び執行管理に関すること。 農林水産業3部に係る総括事務に関すること。 農林業協力事業及び農林水産業3部に係る技術協力センター事業、産業開発協力事業、開発調査事業、開発協力事業の計画及び予算に関すること。 運営審議会農林業部会に関すること。 専門家の処遇、同所属先補てん、国内俸等に関すること。 農林業協力事業の計画及び予算管理に関すること。
課 長 代 理	土 岐 三 平	
課 長 代 理	滝 沢 喜 造	
	林 美和子 磯 山 高 雄	

職 名	氏 名	所 掌 事 務
農 林 業 技 術 課	生 井 まき子	管理的経費及び庶務的事項に関すること。
	高 橋 嘉 行	産業開発協力事業及び開発協力事業の計画及び予算管理に関すること。
	吉 竹 広 次	開発調査事業の計画及び予算管理に関すること。 技術協力の効果の評価手法に関すること。
	黒 沢 啓	技術協力センター事業の計画及び予算管理に関すること。 専門家の諸手当（国内俸を除く）に関すること。
課 長 課 長 代 理 課 長 代 理	池 田 実	(1) 専門家等人員の養成及び確保に関し、農林業開発（技術協力に係る水産業開発を含む）に係る専門分野における企画及び実施に関すること。
	宮 下 信 夫	(2) 農林業開発に関する基礎的調査に関すること。
	長 島 俊 一	(3) 農林業開発に関する技術協力及び開発協力に必要な技術に関する情報の収集、分析及び提供に関すること。
	山 下 敏 敏	農林業協力開発協力、特別案件に関する事務調整、開発協力（インドネシア・トギアン、マラヤ・カカオ）
	西 村 美 彦	開発調査に関する事務調整、開発調査（タイ農協組織、オマーン農業開発）
	西 端 則 夫	専門家等の養成確保、基礎調査（教育研究協力調査、現地研修問題）
	河 合 恒 二	開発調査（ドミニカ・アグリポ、エジプト南部・ホサイニア、シエーラレオーネ・ロンベスワンプ）
	原 田 幸 治	開発協力（ブラジル熱帯果樹）、農林業協力（中米プロフェイ）
	由 田 幸 雄	開発調査（タイ・パサツク、フィリッピン・アルコガス、マリ・バギンダ）、開発協力（中国黒竜江省ビート、インドネシア・サゴヤシ、ソロモン農開）、投資研究会
	橋 本 栄 治	開発調査（エクアドル・コスタ、フィリッピン・マビニ）、農林業協力（メキシコ動物ウィルス）
	三 苫 栄 太 郎	開発協力（パプアニューギニア・サゴヤシ）
	井 上 耕 治	開発調査（中国三江平原、フィリッピン・マツノ川、フィリッピン・イロコスノルテ、タンザニア・ローアモシ、インドネシア・ピラ）、開発協力（サウジ水気耕栽培）
		開発調査（タイ・ペチャブリ、タイ・ナクワン）
	基礎調査（国別事後調査）、農林業協力（インド農業協力）	
	開発調査（インドネシア・コメリン、インドネシア・ランケメ、ビルマ・オカンダム）、産開（パラグアイ・アスンション市場流通）、特案（バングラ農大）、開発協力（ブラジル南部果樹）	
	開発調査（パラグアイ・イポア湖）、農林業協力（インドネシア・リアムカナン、フィージー水産プロフェイ）、開発協力（タイコーヒー栽培）、特案（ギニアビサウ農地造成）	

(2) 農業開発協力部

職名	氏名	所掌事務
部長	村田 稔 尚	
農業開発課		<p>(1) 農業開発に関する技術協力および開発協力の調査に係る実施計画の作成に関すること。</p> <p>(2) 農業開発に関する技術協力および開発協力の調査の実施に関すること。</p> <p>(3) 農業開発に関する施設等の整備事業の受託及び実施に関すること。</p> <p>(4) 農業開発に関する技術の指導に関すること。</p> <p>(5) 農業開発協力部の所掌事務で、他課の所掌に属さないものに関すること。</p>
課長	奥村 孝 夫	
課長代理	的場 泰 信 小野 英美子	<p>部内業務の企画調整連絡、支出状況表とりまとめ、予算関係、プロジェクト基盤整備関係業務</p> <p>農技協課関係プロジェクト支出負担行為、プロジェクト別支出状況表、専門家調査団機材フォロー、小額会議費とりまとめ</p>
	石井 正 克 原 哲 久	<p>畜産開発課・農業投融資課関係プロジェクト支出負担行為、プロジェクト別支出状況表、専門家調査団機材フォロー</p> <p>農技協課関係プロジェクト支出負担行為、プロジェクト別支出状況表、専門家調査団機材フォロー、送金事務</p>
農業技術協力課		<p>(1) 農業開発に関する技術協力プロジェクトの実施計画の作成に関すること。</p> <p>(2) 農業開発に関する技術協力プロジェクトの設計および実施に関すること。</p>
課長	西 脇 重 義	
課長代理	西 川 金 英 大久保 雅 彦 石 塚 幸 寿 上 谷 敏 博 会 場 清 英	<p>下記プロジェクトの総括、カウンターパートの研修受入、調査団派遣に関すること、予算に関すること。</p> <p>バングラデシュ農業普及、インドネシア作物保護、エジプト米作機械化</p> <p>ブラジル農業研究、インドネシア農業研究、タイ雑草研究</p> <p>インドネシア中堅技術者養成計画、フィリピン・カガヤン農業開発、ビルマ農業開発</p> <p>インドネシア・ランボン農業開発、韓国農業研究</p>

職 名	氏 名	所 掌 事 務
課 長 代 理	美谷島 克 彦 戸 上 訓 正 高 間 英 俊 松 田 教 男 瀬 戸 茂 之	下記プロジェクトの総括、機材供与に関する事、専門家の派遣に関する事、報告書作成に関する事。 タイかんがい農業開発、インドネシア・リモートセンシング、インドネシアかんがい排水施工技術センター計画 インドネシア南スラウエシ地域農業開発、ネパール・ジャナカプール農業開発計画、スリランカ農業開発計画 パラグアイ農業開発計画、マレーシア水管理訓練、フィリピン・ボホール農業開発計画、 ブラジル・リベイラ川流域農業開発計画、タンザニア・キリマンジャロ農業開発計画、アフガニスタン稲作開発計画
畜 産 開 発 課		(1) 畜産開発に関する技術協力および開発協力の調査に係る実施計画の作成に関する事。 (2) 畜産開発に関する技術協力および開発協力の調査の実施に関する事。 (3) 畜産開発に関する技術協力プロジェクトに関する事。 (4) 畜産開発に関する施設等整備事業の受託実施に関する事。 (5) 畜産開発に関する技術指導に関する事。 (6) 農業開発に関する技術プロジェクトのうち養蚕・園芸及び流通加工に係る技術協力プロジェクトの実施計画の作成に関する事。 (7) 前号に掲げる技術協力プロジェクトの設計及び実施（無償協力調達部の所掌に属するものを除く）に関する事。
課 長 代 理	板 橋 勅 前 田 武 彦 安 達 武 史 鍋 屋 史 朗	予算関係、専門家関係、調査団関係、総務的事項、プロジェクト総括、ペルー野菜流通改善 インドネシア養蚕開発、ウルグアイ野菜研究、バングラデシュ園芸研究 タイカセサート大学（研究）（普及・機械）、ビルマ養鶏養豚開発
課 長 代 理	栗 城 俊之助 武 田 雄 八 黒 川 恒 男	機材供与関係、研修員関係、応急対策現地業務員、庶務的事項、プロジェクト総括、メキシコウイルスセンター インドネシアボゴール農大、タイ家畜衛生、タイとうもろこし産業開発 インドネシア家畜衛生、マダガスカル北部畜産開発

職 名	氏 名	所 掌 事 務
<p>農 業 投 融 資 課</p> <p>課 長</p> <p>課 長 代 理</p>	<p>水 戸 伸</p> <p>吉 田 浩</p> <p>羽 村 弘</p> <p>佐 藤 忠</p>	<p>(1) 農業開発に伴う周辺関連施設整備及び試験的事業等に対する貸付等に係る調査に関すること。</p> <p>(2) 農業開発に伴う周辺関連施設整備及び試験的事業等に対する貸付等及び貸付等の管理に関すること。</p> <p>課内各担当業務の総括、農林業開発協力（以下、3号業務という）に係る出資・貸付及び管理に関すること、外部との調整連絡</p> <p>3号業務に係る出資・貸付及び管理に関すること、3号業務に係る研修員受入専門家派遣に関すること、イタブア製油商工務に関すること、投融資予算に関すること及び一般案件の融資に関すること。</p> <p>3号業務に係る出資・貸付及び管理に関すること、3号業務に係る研修員受入専門家派遣に関すること、日伯農業開発事業に関すること。</p>

(3) 林業開発協力部

職 名	氏 名	所 掌 事 務
部 長	渡 辺 桂	
林 業 開 発 課		<p>(1) 林業開発に関する技術協力及び開発協力の調査に係る実施計画の作成に関すること。</p> <p>(2) 林業開発に関する技術協力及び開発協力の調査の実施に関すること。</p> <p>(3) 林業開発に関する技術協力プロジェクトの実施計画の作成に関すること。</p> <p>(4) 林業開発に関する技術協力プロジェクトの実施に関すること。</p> <p>(5) 林業開発に関する施設等整備事業の受託及び実施に関すること。</p> <p>(6) 林業開発に関する技術の指導に関すること。</p> <p>(7) 林業開発協力部の所掌事務で、他課の所掌に属さないものに関すること。</p>
課 長	<p>鈴 木 進</p> <p>中 道 正</p> <p>笠 井 秀 則</p> <p>甲 斐 寿 治</p> <p>難 波 紀 子</p> <p>斉 藤 實</p>	<p>林業開発課業務総括</p> <p>開発調査の計画及び実施に関する事項</p> <p>開発協力調査の計画及び実施に関する事項</p> <p>技術協力プロジェクトの実施計画に関する事項、ジャワ山岳林収穫技術、南スマトラ森林造成</p> <p>ビルマアラカン山岳林業開発、南部パラグアイ農林業開発の実施</p> <p>パンタバンガン森林造成、アマゾン森林造成現地実証調査の実施</p> <p>庶務、コンサル契約に関する事務、ジャワ山岳林収穫、南スマトラ森林造成の実施</p> <p>ブラジルサンパウロ林業研究の実施、専門家派遣、機材調達、その他調査団の派遣</p>

職 名	氏 名	所 掌 事 務
<p>林業投融資課</p> <p>課 長</p> <p>課 長 代 理</p>	<p>庵 原 宏 義</p> <p>石 田 哲 也</p> <p>笠 井 秀 則</p> <p>井 上 卓</p>	<p>(1) 林業に係る投融資に関すること。</p> <p>林業関係資金貸付審査及び同業務に係る総括、予算、調査に関すること。</p> <p>林業関係資金貸付審査及び同業務に係る庶務、統計、内部規定に関すること。</p> <p>林業関係資金貸付審査及び同業務に係る事務処理基準契約書に関すること。</p>
<p>水産業技術協力室</p> <p>室 長</p>	<p>佐 伯 靖 彦</p> <p>石 渡 健 次</p> <p>齊 藤 宏</p> <p>雲 見 昌 弘</p> <p>中 内 清 文</p> <p>小 原 基 文</p>	<p>(1) 水産業に関する技術協力プロジェクトに関する事項。</p> <p>(2) 水産資源調査その他特命事項に関する事項。</p> <p>インドネシア浅海養殖、コロンビア水産資源調査、エクアドル特別案件調査（漁業開発計画）、ブラジル特別案件調査（サントス水産高校）</p> <p>ブラジル水産資源調査、ホンデュラス水産資源調査、パキスタン特別案件調査（漁業振興計画）、タイ沿岸養殖</p> <p>チリ水産養殖、パナマ水産資源調査、アルゼンチン漁業訓練センター</p> <p>チュニジア国立漁業センター、キリバス特別案件調査（漁業振興計画）、インドネシア・アラブハンラトウ漁港開発調査、ミクロネシア漁業開発</p> <p>ペルー水産加工センター、スリランカ高等水産講習所、カーボベルデ特別案件調査（漁業振興計画）、モーリタニア特別案件調査（漁業振興計画）</p>

4. 第10回農林水産業協力プロジェクトリーダー会議
実施要領

1) 目的

農林水産業に係る技術協力プロジェクトにつき、各プロジェクトの現状、問題点、対応策等の検討及び相互の経験交流を行うとともに昭和56年度の事業計画の検討を行い、もって農林水産業協力事業の円滑かつ効果的なる推進に資することを目的とする。

2) 昭和56年2月18日(水)～2月24日(火)の7日間
(会議日程は別紙1による。)

3) 開催場所

東京(事業団本部)

4) 出席予定者

プロジェクトリーダー等28名(別紙2による)

関係官庁

JICA関係者

5) 会議の運営等

(1) 会議の円滑なる運営を図るため、別紙2の運営組織を設置する。

(2) 会議の効率的運営を図るため、別紙2の区分による分科会を設置する。

6) 議題

(1) 昭和55年度事業実施状況及び昭和56年度事業実施方針

(2) 新設及び改正された制度等の報告及び業務連絡

(3) 各プロジェクトの昭和55年度実施状況及び昭和56年度実施計画

(4) 農林水産技術協力プロジェクト運営上の諸問題について

ー 特別議題「プロジェクトの進め方」 ー

ア. 目標と進行管理

イ. 相手国側受入体制の強化方策

ウ. 機材供与のあり方

エ. プロジェクト協力の相互理解の促進方策

オ. 協力方式のあり方

(ア～オに関する議題説明別添-3参照)

(5) 個別打合せ

昭和56年度調査団派遣計画, 専門家派遣計画, 機材供与計画(機材リストを含む), カウンターパート受入計画, その他本部に対する個別要望事項等

(6) その他

7) 予算 (項)農林業協力費, (目)連絡会議旅費

以上

(別紙1)

第10回農林水産業協力プロジェクトリーダー会議日程

月 日	午 前	午 後	備 考
2月18日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受付(9:15~9:45) ○ 開会(10:00~) ○ 出席者紹介 ○ あいさつ 事業団, 外務省, 農林水産省, 文部省 ○ 議題及び日程説明 ○ 議長及び分科会座長選出 ○ 記念撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本部説明(13:30~) ○ 議題(1)及び(2) ○ 各省からの説明 外務省, 農林水産省, 文部省 ○ 質疑応答 	場所: JICA 9F 大会議室 ○ JICA本部主催懇談会 (18:00~20:00)
19日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体会議(9:40~) ○ 議題(4)について, 代表リーダーから事例報告, 論点開示 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体会議 同左討議 関係各省コメント 	場所: JICA 9F 大会議室
20日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分科会(9:40~) ○ 議題(3)について各リーダーから報告討議 分野別技術的課題討議 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分科会 同左 	場所: JICA 会議室
21日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体会議(9:40~) ○ 議題(3)及び(4)について, 分科会から総括報告, 質疑応答 	Free	場所: JICA 会議室
22日 (日)	Free	Free	

月 日	午 前	午 後	備 考
2月23日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別打合せ(9:40~) ○ 議題(5)について, リーダーとプロジェクト担当原課との協議 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別打合せ(13:30~) ○ 同左 ○ 議長・座長会議(16:00~) 	場所: JICA 各部・課
24日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体会議(9:40~) ○ 会議のしめくり総括討議 ○ 次回以降の開催方針討議 ○ 事業団あいさつ ○ 閉会(12:00) 	帰任準備	場所: JICA 9F 大会議室

(別紙2)

第10回プロジェクトリーダー会議運営組織及びその構成

1. リーダー会議運営委員会

有松理事、松山理事

農林水産計画調査部長、同部次長、農林水産計画課長

農業開発協力部長、農業開発課長、畜産開発課長、農業技術

協力課長

林業水産開発協力部長、林業開発課長、水産技術協力室長

2. リーダー会議運営事務局

農林水産計画調査部次長

農林水産計画課長、農業開発課長、畜産開発課長、農業技術

協力課長、林業開発課長、水産技術協力室長他関係職員若干

名

3. リーダー会議議長及び分科会座長

アドバイザー及びリーダーの互選による。

4. 分科会の区分及びプロジェクトからの出席予定者

分科会	国名	プロジェクト名	リーダー・アドバイザー氏名	備考
農業普及	バングラデシュ	農業普及	リーダー 中田 正一	
	インドネシア	養蚕開発	" 森 信行	
	"	中堅技術者養成	" 神戸 正	
	ネパール	ジャナカプール農開	" 宮坂 忠次	
小計	3カ国	4プロジェクト	4名	

分科会	国名	プロジェクト名	リーダー・アドバイザー氏名	備考
農業研究	バングラデシュ	園芸研究	リーダー 相原 四郎	
	インドネシア	農業研究	" 戸田 節郎	
	"	ボゴール農大	" 松山 晃	
	タイ	カセサート大学	" 川口桂三郎	
	"	雑草研究	" 野田 健児	
	ブラジル	農業研究	" 尾形 保	
ウルグアイ	野菜研究	" 二井内清之		
小計	5カ国	7プロジェクト	7名	
農業開発	インドネシア	南スラウエシ農開	アドバイザー 鈴木 勲	
	マレーシア	水管理訓練	リーダー 矢野 武彦	
	タイ	かんがい農開	" 中島淳一郎	
	フィリピン	カガヤン農開	" 田中 幸彦	
	ブラジル	リベイラ農開	" 野島 勉	
	パラグアイ	農業開発	" 町田 暢	
小計	6カ国	6プロジェクト	6名	
畜産	ビルマ	養豚・養鶏	リーダー 広瀬 正美	
	インドネシア	家畜衛生	" 長野 整一	
	タイ	"	" 本橋 常正	
	マダガスカル	北部畜産開発	" 船津 秀雄	
小計	4カ国	4プロジェクト	4名	
林業水産	ビルマ	アラカン林業	アドバイザー 出口 英伍	
	インドネシア	ジャワ山岳林	リーダー 沼田 手束	
	"	南スマトラ森林造成	アドバイザー 加藤 亮助	
	フィリピン	パンタバンガン森林造成	" 藤村 隆	
	ブラジル	サンパウロ林業研究	リーダー 中野 實	
	パラグアイ	林業開発	" 青山 重和	
インドネシア	浅海養殖	" 山下 正夫		
小計	5カ国	7プロジェクト	7名	
合計	11カ国	28プロジェクト	28名	

5. 第7回農林水産業協力プロジェクト（伐木集運材分野）
技術者連絡会議実施要領

関係省庁 }
JICA関係者 } 若干名

1) 目 的

農林水産業に係る技術協力プロジェクト（伐木集運材分野）の円滑な実施を図るため、効果的な技術移転及び現地適応技術の開発改良手法、移転技術の現地定着化のための課題を主たる議題として、当該事業に関係するプロジェクトの専門家を招集し、現状、問題点、対応策等の討議及び相互の経験交流を行うとともに、昭和56年度の事業計画の検討を行うことを目的とする。

2) 開 催 時 期

昭和56年2月9日（月）～2月14日（土）（会議日程は別紙のとおり）

3) 開 催 場 所

インドネシア

4) 出 席 予 定 者

インドネシア ジャワ山岳収穫技術協力プロジェクト }
ビルマ アラカン山系林業開発技術協力プロジェクト } 各3名
(伐出計画, 収穫技術, 林業機械 各1名)

5) 会 議 の 運 営 等

会議の円滑な運営を図るため農林水産業協力プロジェクト（伐木集運材分野）技術者連絡会議運営事務局を設置する。（事務局組織図は別紙のとおり）

6) 議 題

- (1) 昭和55年度までの事業実施状況及び昭和56年度事業実施方針
- (2) 各プロジェクトの事業実施状況及び今後の実施計画
- (3) 効果的な技術移転と現地適応技術の開発・改良手法
- (4) 移転技術の現地定着化のための課題
- (5) 事業実施上の諸問題
- (6) その他

7) 予 算

- (項) 農林業協力費
- (目) 連絡会議旅費

(別紙)

第7回農林水産業協力プロジェクト(伐木集運材分野)
技術者連絡会議日程

月 日	午前(9:00~12:00)	午後(13:00~17:00)
2月9日(月)	大使館, JICA, 木材公社 表敬 開会	移動(ジャカルタ~パトラーデン) ・各プロジェクト報告
2月10日(火) (パトラーデン)	・あいさつ ・議題及び日程説明 ・本部連絡	・議題討議
2月11日(水) (ブミジャワ)	現地検討会	現地検討会
2月12日(木)	移動	移動
2月13日(金) (マディウン)	議題討議	個別協議
2月14日(土)	会議の総括 閉会	

技術者連絡会議事務局

事務局長 林業水産開発協力部長

事務局 林業開発課長 他関係職員

参 考 图 表

1. 主要事業予算の推移（農林水産三部関連）

予 算 項	対前年度比（％）											
	51	52	53	54	55	56	51/50	52/51	53/52	54/53	55/54	56/55
① 農林業協力費	2,464,969	2,751,564	3,645,500	4,366,811	5,235,807	5,755,867	110.5	111.6	132.5	119.8	119.9	109.9
② 産業開発協力費	586,158	646,385	1,476,000	155,139	183,773	245,938	111.3	110.3	22.8	105.1	118.5	133.8
③ 技術協力センター費	219,958	276,408	251,211	370,913	444,761	360,504	158.5	125.7	90.9	147.7	119.9	81.1
④ 開発調査費	449,639	700,433	1,084,745	1,376,747	1,570,732	1,762,501	234.1	155.8	154.9	126.9	114.1	112.2
⑤ 開発協力費	242,462	276,288	300,753	360,942	408,162	416,098	106.4	114.0	108.9	120.0	113.1	101.9
計	3,963,186	4,651,078	5,429,809	6,630,552	7,843,235	8,540,908	119.6	117.4	116.7	122.1	118.3	108.9

注1. ①, ②, ③は, 技術協力プロジェクトの実施経費であり, 調査団派遣費, 専門家派遣費, 専門家の現地業務費, 機材供与費等が含まれる。

注2. ①は農林水産関係技術協力プロジェクトに関するもの。

注3. ②は主に地場産業の育成に関するもので, 農林水産物の加工, 流通を協力の主体とするもの。

注4. ③は技術者の訓練センター等に関する技術協力プロジェクトであり, うち, 農林水産関係のもの。

注5. ④は政府ベースの開発計画に関する調査費であり, うち, 農林水産関係のもの。

注6. ⑤は, 民間協力の支援に関する経費であり, うち, 農林関係のもの。

2. 主要事業量の推移に関する指標

	年 度	予算指数 (上記 5事業計)	プロジェクト方式技術協力				開発調査案件数(件)							金 額 (実績)
			プロジェクト 数	調査団数	派遣 専門家数	機 材 供 与 額	事 前	マスタ プラン	F/S	林業資源	水産資源	特別案件	計	
政 府 間 援 助	50	100.0	26	8 件	179 延人	850 百万円	1	0	4	0	1	0	6	310 百万円
	51	119.6	24	28	179	1,582	11	1	8	3	5	0	28	722
	52	140.3	29	32	222	2,463	7	3	11	2	4	2	29	1,248
	53	163.8	35	47	297	2,050	7	3	14	1	4	7	36	1,778
	54	200.1	38	46	331	2,175	9	3	17	3	2	10	44	2,160
	55	236.7	45	61	389	2,824	14	2	16	3	3	10	48	2,546

	年 度	開発協力			開発投融資				
		調査団数	専 門 家 派 遣 数	受 入 研 修 数	実行件数	実行金額	左の全産業 に対する比率	投 融 資 累 計 額	投 融 資 残 高
民 間 協 力 の 支 援 等	50	20 件	8 延人	21 延人	18 件	1,636 百万円	54.1 %	4,387 百万円	4,205 百万円
	51	19	10	18	35	1,592	67.1	5,985	5,613
	52	15	3	15	31	2,209	89.1	8,194	7,559
	53	18	17	22	32	1,181	34.0	9,375	8,397
	54	24	17	22	21	1,579	39.1	10,954	9,367
	55	23	11	22	16	758	6.5	11,712	9,768

(注) 55年度は、実績見込(ただし、開発投融資は、12月現在の実績)

3. プロジェクト方式技術協力事業（農林業協力，産業開発協力，技術協力センター）

(1) プロジェクト方式技術協力位置図

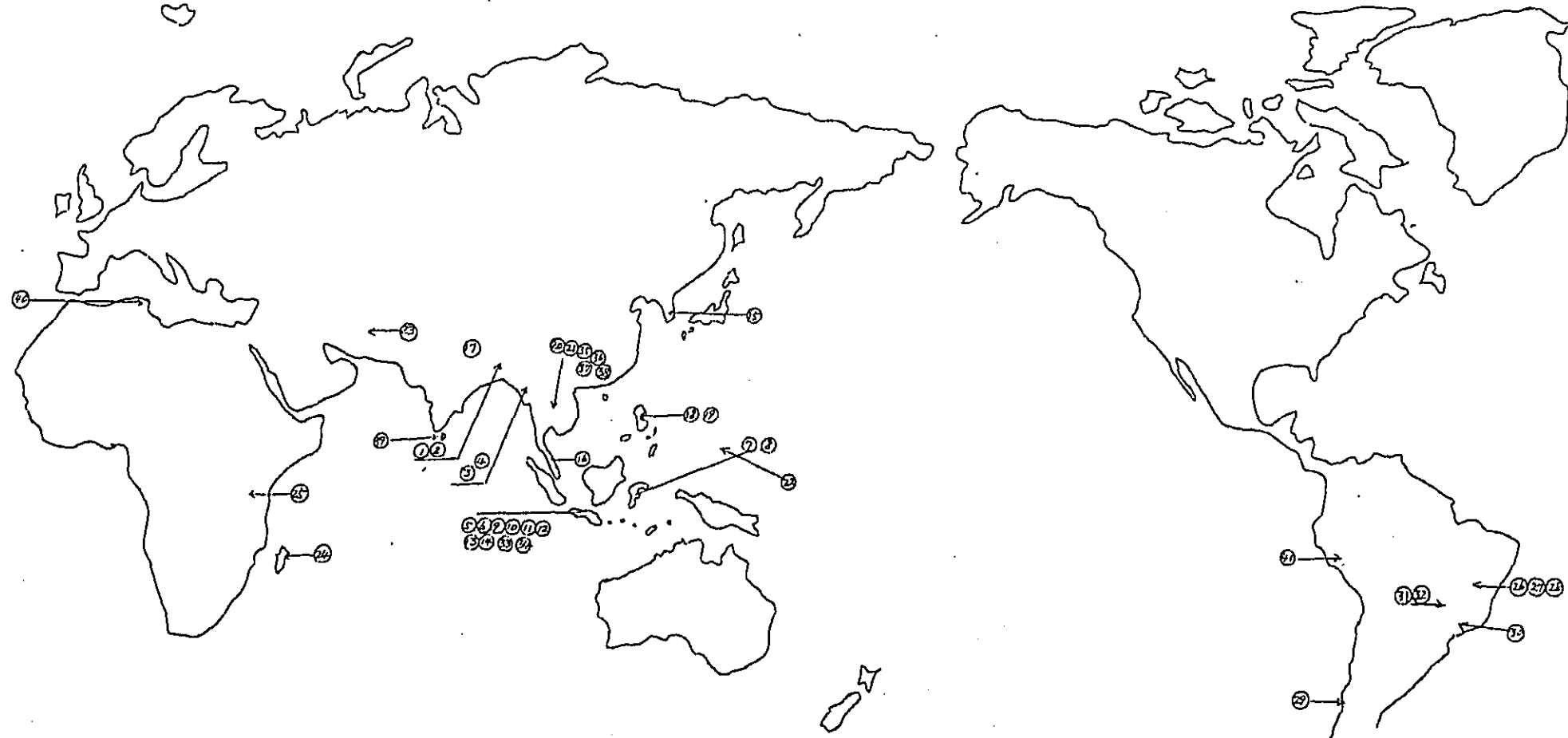
№	国名	プロジェクト名
〔農林業協力〕		
1	バングラデシュ	農業普及
2	"	園芸研究
3	ビルマ	畜産開発
4	"	アラカン林業
5	インドネシア	農業研究
6	"	ランボン農業開発
7	"	養蚕開発

8	インドネシア	南スラウエシ農業
9	"	ボゴール農大
10	"	家畜衛生
11	"	ジャワ山岳林
12	"	浅海養殖
13	"	南スマトラ森林造成
14	"	中堅技術者養成
15	韓国	農業研究
16	マレーシア	水管理訓練

17	ネパール	農業開発
18	フィリピン	カガヤン農業開発
19	"	パンタバンガン森林造成
20	タイ	灌漑農開
21	"	家畜衛生
22	ミクロネシア	漁業開発
23	アフガニスタン	稲作開発
24	マダガスカル	畜産開発
25	タンザニア	キリマンジャロ農開

26	ブラジル	農業研究
27	"	リベイラ農開
28	"	林業研究
29	チリ	水産養殖
30	ウルグアイ	野菜研究
31	パラグアイ	農業開発
32	"	林業開発
33	インドネシア	リモートセンシング (新規)
34	"	作物保護 (新規)

35	タイ	カセサート大学 (研究)	(新規)
36	"	雑草研究	(新規)
37	"	沿岸養殖	(新規)
〔産業開発協力〕			
38	タイ	とうもろこし	
〔技術協力センター〕			
39	スリランカ	高等水産講習所	
40	チュニジア	国立漁業センター	
41	ベルー	水産加工センター	



(2) 農林水産業関係終了プロジェクト一覧

国名	プロジェクト名	協力期間	国名	プロジェクト名	協力期間
1 インド	水産加工技術訓練センター	37.3 ~ 40.3	14 インドネシア	東部ジャワとうもろこし開発	42.1 ~ 46.3
2 "	農業技術センター	39.12 ~ 43.12	15 ラオス	タゴン農業開発	41.4 ~ 52.4
3 "	農業普及センター	43.3 ~ 50.12	16 マレーシア	農業機械化訓練	45.12 ~ 50.12
4 "	ダндаカラニア農業開発	45.8 ~ 50.8	17 フィリピン	稲作開発(ミンドロ, レイテ)	44.6 ~ 49.6
5 パキスタン	東パキスタン農業訓練センター	35.7 ~ 38.7	18 タイ	一次産品開発	45.11 ~ 49.12
6 スリランカ	セイロン漁業訓練センター	36.3 ~ 40.9	19 "	大豆開発	43.4 ~ 51.4
7 "	デアファ村落開発	45.10 ~ 50.10	20 "	えび養殖	48.4 ~ 52.3
8 カンボジア	日カ友好農業センター	34.7 ~ 41.7	21 "	養蚕開発	44.3 ~ 55.3
9 "	" 畜産センター	(34.7 ~ 41.7) (41.10 ~ 44.9)	22 ベトナム(南)	カントー大学農学部	45.3 ~ 48.3
10 "	とうもろこし開発協力	43.11 ~ 46.11	23 シリア	鶏病予防センター	47.11 ~ 52.11
11 インドネシア	漁業技術協力	44.7 ~ 47.7	24 イラン	農業研究	53.3 ~ 55.3
12 "	西部ジャワ食糧増産	43.5 ~ 46.5	25 ミクロネシア	漁業開発(予定)	53.4 ~ 56.3
13 "	タジュム地区農業開発	46.2 ~ 49.2			

合計 13カ国 25プロジェクト

内訳 { 農業 18プロジェクト
畜産 2 "
林業 0 "
水産 5 "

(3) プロジェクトの運営状況

ア 分野別、地域別、プロジェクト数(55年12月末現在)

① 分野別

分野	農業	畜産業	林業	水産業	計
プロジェクト数	24	4	6	7	41

② 地域分

地域	アジア	中近東	アフリカ	中南米	太平洋州	計
プロジェクト数	28	1	3	8	1	41

イ 各プロジェクト運営状況

番号	国名	プロジェクト名	主な協力内容	協力期間	専門家派遣		機材供与	無償との関連	備考
					長期	短期			
1	バングラデシュ	農業普及計画	中央農業普及技術開発研究所における実用試験の実施、普及素材の開発、普及員養成のための教員の資質向上を図るとともに、普及実験地域（3ヶ所）における実証試験	R/D 50.3.14～ 53.10.12 協定 53.10.13～ 58.10.12	人 7	人 1	千円 63,000	百万円 51年 700 52年 180 (研究所建設)	
2	バングラデシュ	園芸研究計画	園芸研究センターにおけるかんきつ及び野菜種子改良調整等のための試験研究並びに3サブセンターにおける現地試験に対する指導	R/D 52.11.3～ 58.11.2	4	3	48,000	51年 150 (本館, 温室, 網室)	
3	ビルマ	畜産開発計画 (養豚養鶏 開発計画)	ラングーン市10マイルの畜産公社農場において、養豚養鶏飼料生産のための、飼養、生産技術の指導研修事業	R/D 53.4.12～ 57.4.11	2	1	90,000		
4	ビルマ	アラカン山系 林業開発計画	ビルマアラカン山系における伐出のための集材技術及び機械保守の訓練に対する技術	R/D 52.12.2～ 57.3.31	7	0	128,000		

- (注) 1. 専門家派遣 : 長期は12月末現在派遣中員数
短期は12月末現在派遣延員数
2. 機械供与 : 前年度からの繰越分を含む。

番号	国名	プロジェクト名	主な協力内容	協力期間	専門家派遣		機材供与	無償との関連	備考
					長期	短期			
5	インドネシア	農業研究計画	豆類及びその他の食糧作物の育種栽培，水管理，施肥法，雑草防除等に関する研究，情報の交換等	協定 4 5.1 0.2 3～ 5 3.1 0.2 2 R/D 5 3.1 0.2 3～ 5 8.1 0.2 2	人 7	人 1	千円 3 9,0 0 0	百万円	
6	インドネシア	ランボン農業開発計画	農業普及センターにおける実用試験の実施，普及員等に対する訓練，水田及び畑地帯における農業開発のための改良技術の演示，優良種苗の増殖，配布，病虫害防除技術の確立	協定 4 7.1 1.1 4～ 5 7.1 1.1 3	2	1	3 6,2 0 0	5 2年度 1 2 0 (センター建設) 第 2 K R	
7	インドネシア	養蚕開発計画	養蚕センター，サブセンターにおける実用試験，蚕種桑苗の増殖，配布並びに技術者農民の訓練	R/D 5 1. 3.3 0～ 5 3. 2.2 7 協定 5 3. 2.2 8～ 5 8. 2.2 7	6	4	6 9,0 0 0	5 2年 1 0 0 (灌水施設)	
8	インドネシア	南スラウエシ地域農業開発計画	国家目標に即した地域農業開発計画策定のための技術者の養成，柑橘，植林及び草地のパイロットテストの実施	R/D 5 1.1 2.2 5～ 5 6. 6.2 3	5	1	2 4,0 0 0		
9	インドネシア	ボゴール農科大学農産加工計画	ボゴール大学農業工学，農産加工学部において農産加工分野の教員の資質及び学生の技術向上，農産加工パイロットプラントの設置運営	R/D 5 2.1 0.1 4～ 5 7.1 0.1 3	6	3	7 4,0 0 0		

番号	国名	プロジェクト名	主な協力内容	協力期間	専門家派遣		機材供与	無償との関連	備考
					長期	短期			
10	インドネシア	家畜衛生改善計画	スマトラ島メダン及びタンジュンカランの家畜衛生センターにおける家畜疫病の調査診断業務等の技術指導	R/D 52. 7. 7~ 57. 7. 6	人 5	人 2	千円 70,000	百万円 52, 53年 600 (センター建物)	
11	インドネシア	ジャワ山岳林収穫技術協力計画	中部ジャワ山岳林のメルクシマツ伐出のための集材技術の訓練等	R/D 53. 4.20~ 57. 4.19	8	0	110,000		
12	インドネシア	浅海養殖開発計画	魚貝類の種苗生産及び浅海養殖に係る調査研究及び技術指導	R/D 53. 8.31~ 57. 3.31	5	3	46,000		
13	インドネシア	南スマトラ森林造成計画	南スマトラ地域の焼畑跡地等の森林造成の技術指導	R/D 54. 4.12~ 59. 4.11	6	2	110,000		
14	インドネシア	中堅技術者養成計画	農業普及員を中心とした中堅技術者の養成訓練	R/D 54. 3.29~ 59. 3.28	4	0	52,000		
15	インドネシア	リモートセンシング計画	リモートセンシング技術訓練	R/D 55. 4. 1~ 60. 3.31	0	0	137,500		

番号	国名	プロジェクト名	主な協力内容	協力期間	専門家派遣		機械供与	無償との関連	備考
					長期	短期			
16	インドネシア	作物保護計画	病虫害防除方法の基礎的研究調査	R/D 55. 6.18~ 60. 6.17	人 0	人 0	千円 42,700	百万円	
17	韓国	農業研究計画	水稲, 普通作物等の多収性品種, 土壌肥料 作物栄養, 除草剤等の研究	協定 49. 6. 7~ 54. 6. 6 R/D 54. 6. 7~ 57. 3.31	1	0	39,000		
18	マレーシア	水管理訓練計画	水稲二期作を中心とした水管理, かんがい システムの維持管理法を確立し, 普及員, 農民等の訓練を行う	R/D 52. 9. 3~ 57. 9. 2	5	0	10,000		
19	ネパール	ジャナカプール 農業開発計画	農業開発センター等における改良農法の導 入, 普及員, 農民の指導訓練及び深井戸か んがい地区の基盤整備, 末端水管理の改良 普及等	R/D 46.11.26~ 49.11. 6 協定 49.11. 7~ 54.11. 6 R/D 54.11. 7~ 57.11. 6	7	0	43,000	50年 90 (センター建物) 51年 150 (穀物倉庫) 第2KR	
20	フィリピン	カガヤン 農業開発計画	パイロットセンターにおける実用試験優良 品種の普及及び拠点普及地域における改良 農業技術の展示, 指導並びに円借関連事業等 の支援	R/D 51. 2.27~ 54. 2.21 M/A 54. 2.22~ 57. 2.21	5	0	24,500		

番号	国名	プロジェクト名	主な協力内容	協力期間	専門家派遣		機材供与	無償との関連	備考
					長期	短期			
21	フィリピン	パンタバンガン 森林造成計画	パイロットフォレストの造成を通じ、熱帯 草地の造林技術の開発訓練を行う。	R/D 51. 6.18～ 56. 9.30	人 10	人 2	千円 92,000	百万円 53年 1,050 (森林保全のため の研修センター)	R/Dから協定 への移行を交渉 中
22	タイ	かんがい農業 開発計画	水稻生産の増大、二期作の拡大を図るため チャオピア及びメクロンパイロット地区 (圃場整備)及びスハンプリ農業開発試験 訓練所における営農技術の改良・普及員養 成等	R/D 52. 4. 8～ 57. 4. 7	12	0	115,000	51年 120 (研修練)	
23	タイ	家畜衛生改善 計画	家畜疾病の診断、調査、口蹄疫の診断及び 口蹄疫ワクチンの製造に係る技術指導	R/D 52. 3. 2～ 57. 3. 1	7	3	80,000	51年) 190 52年) (ワクチン製造セン ター建物)	
24	タイ	カセサート大学 研究協力計画	カセサート大学における農学研究の振興及 び研究者の養成を目的とした野菜種子の生 産、醸酵分野の研究協力	R/D 55. 4.10～ 60. 4. 9	1	2	40,000	53年 1,300 (総合研究センター)	
25	タイ	雑草研究協力計 画	高収量技術(高収量品種、施肥)の導入に 伴う雑草害の防除に係る基礎及び応用研 究	R/D 55. 4.18～ 60. 4.17	3	1	40,000		
26	タイ	沿岸養殖	内水面漁業生産の増大及び沿岸養殖開発	R/D 56. 4. 1～ 61. 3.31	[2]	0	-	54年 800 (沿岸養殖センター)	[長期調査員]

番号	国名	プロジェクト名	主な協力内容	協力期間	専門家派遣		機材供与	無償との関連	備考
					長期	短期			
27	タイ	とうもろこし産業開発計画	センターにおける栽培技術、農業機械体系の展示及び拠点農協に対する普及指導等	R/D 51. 9.17~ 57. 9.16	人 6	人 2	千円 47,000	百万円	(産業開発)
28	ミクロネシア	漁業開発計画	パラオ島においてカツオ漁業開発に係る漁獲調査餌料魚開発を主体とする協力実施中	R/D 53. 4. 1~ 56. 3.31	4	9	17,884		
29	スリランカ	高等水産講習所	遠洋、沖合漁業開発のための漁業技術者への訓練教育	協定 49. 4.16~ 55. 4.15 R/D 55. 4.16~ 56. 4.15	4	0	14,400	49年 156 (80t型訓練船)	(センター)
30	アフガニスタン	稲作開発計画	稲作集約栽培の導入・土地有効利用栽培技術体系・品種改良・普及員の訓練等を通じ生産の向上と農民の生活向上を図る	R/D 54. 4.14~ 59. 4.13				53年 800 (センター建物)	休止中
31	マダガスカル	北部畜産開発計画	家畜飼養技術・家畜衛生の改善・飼料作物の畜産技術者の訓練	R/D 52.1.11~ 57.1.10	4	0	90,000	54年) 1,000 55年) (畜舎, 研修施設)	
32	タンザニア	キリマンジャロ農業開発計画	農業開発センターで栽培技術の改良、農業機械・普及の指導訓練農業基盤整備・水資源開発の技術的指導	R/D 53. 9.13~ 57. 9.12	0	0	68,000	54年) 2,000 55年) (センター建物)	長期専門家2名派遣予定
33	ブラジル	農業研究計画	セラード地域の農業開発に資するための植物病理、昆虫、作物栽培、土壌肥料等の研究	52. 9.30~ 57. 9.29 (補足取極)	7	0	82,000		

番号	国名	プロジェクト名	主な協力内容	協力期間	専門家派遣		機材供与	無償との関連	備考
					長期	短期			
34	ブラジル	リベイラ川流域農業開発計画	圃場整備技術の指導・稲作栽培技術の普及 農業開発センターにおける実用試験等	R/D 50. 3.10～補足 取極締結まで	人 7	人 0	千円 50,000	百万円	補足取極締結交渉中
35	ブラジル	サンパウロ 林業研究協力 計画	サンパウロ州パライバ河流域の保全に資する ため、森林の管理技術に関する研究協力	R/D 54. 4. 1～ 59. 3.31	2	0	57,000		
36	チリ	水産増養殖	北海道産シロザケ双発眼卵のチリへの移植 に関する協力	R/D 54.10. 2～ 59.10. 1	5	1	60,000		
37	ウルグアイ	野菜研究計画	ラス・ブルーハス試験場等における野菜、 ジャガイモ等の生産増大、品質改善に関する 研究協力	R/D 53. 7.19～ 56. 7.18	3	5	40,000		
38	パラグアイ	農業開発計画	カピタミランダ農試の強化 農業機械化に関する訓練	R/D 54. 3.16～ 59. 3.15	3	1	94,000	54年 660 55年 1,340 (センター建物)	
39	パラグアイ	林業開発訓練 計画	植林、木材加工等に関する技術開発訓練	R/D 54. 3.16～ 59. 3.15	2	0	82,000	54年 840 (造林及び木材加工 に関する研修施設)	
40	チュニジア	国立漁業センター	水産学校教師に対する、トロール、巻網漁 業等の再教育及び現場責任者に対する漁業 改善指導	R/D 53. 7. 1～ 56. 6.30	6	4	74,392		(センター)
41	ペルー	水産加工センター	新製品の開発と水産加工技術の改善	協定 51.10.13～ 55.10.12 R/D 55.10.13～ 57.10.12	7	0	38,000	53年 500 (センター研究棟 管理棟、食堂)	(センター)

(4) 長期派遣専門家の分野別，所属先別構成比（55年12月末現在）

イ 分野別分類

プロジェクト分野	専門家人数	構成比(%)
農 業	103	53.6
林 業	35	18.2
畜 産 業	23	12.0
水 産 業	31	16.1
計	192	100.0

ロ 所属先別分類

所 属 先	農林水産業関係	事業団全体
国家公務員	36%	32%
地方公務員	2	3
公社・公団	2	15
JICA職員	10	11
民間企業	17	18
自 営	1	1
無 職	23	14
JICA特別嘱託	9	6
計	100	100

注1. 農林関係無職専門家のうち，公務員のOBは56%，協力隊OBは13%

注2. JICA特別嘱託専門家のうち，公務員OBは28%，協力隊OBは17%

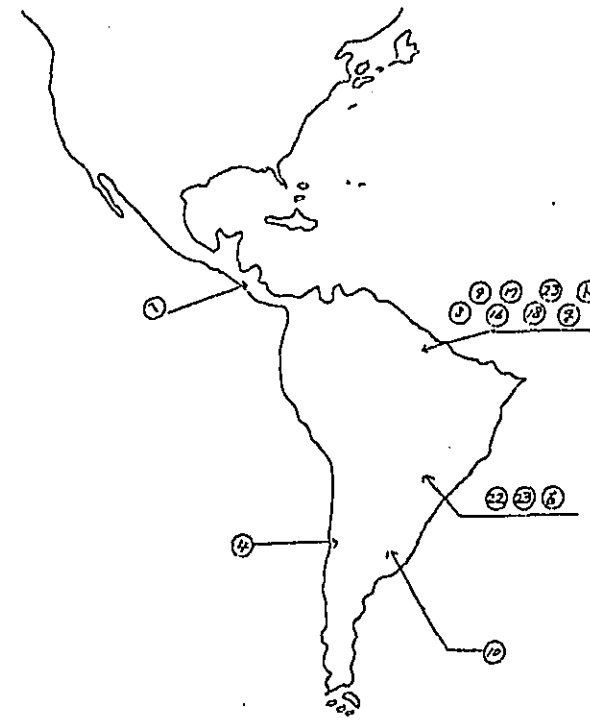
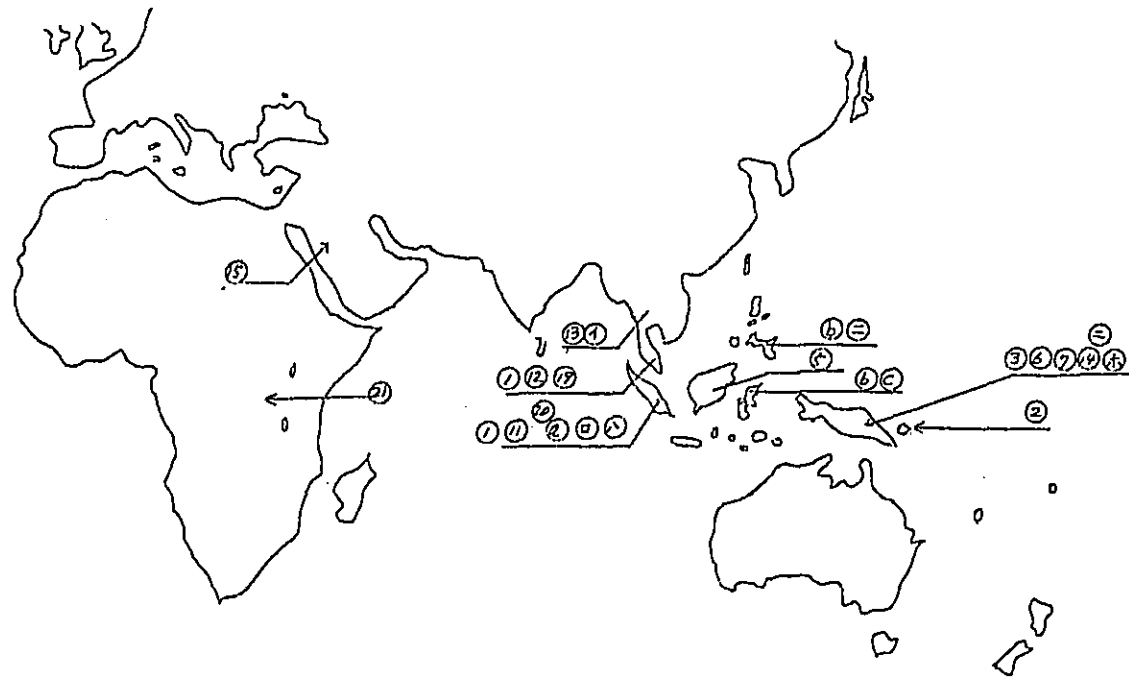
(5) 技術協力プロジェクトに関する無償資金協力

年度	プロジェクト名	E / N 署名年月日	供与内容	供与額	備考
54	アフガニスタン 農業普及機材整備計画	79. 8.22	普及員連絡用車両, 2tトラック, 4tトラック, 起重機付車両	800 百万円	
"	ケニア ケニヤッタ農工大学設立計画	79. 7.30	大学校舎, 実験棟, 農場施設, 教育機材	2,000	
"	タンザニア キリマンジャロ総合開発技術センター	79. 7.27	農業開発センター, 工業開発センター, 機材	2,000	
"	スーダン ガサバ地区実験農場設立計画	79. 7.21	圃場造成, 灌漑揚水機橋, 水路洪水防止堤 農道, 建物, 機材等	1,000	
"	パラグアイ 南部パラグアイ農林業総合開発センター	79. 7.25	農業開発試験普及センター施設及機材 林業開発訓練センター施設及機材	1,500	
"	タイ 沿岸養殖センター	54.11.19	沿岸養殖センター建物施設	800	
55	インドネシア 中堅技術者訓練センター	80. 9.27	農業訓練センター建物施設	400	
"	" かんがい排水施工技術センター	80. 6.17	かんがい排水施工技術センター建物施設	1,500	
"	パラグアイ 農業開発計画農業機械化センター	80. 6.13	農業機械化センター施設及び機械	1,340	

5. 農林業開発協力事業及び開発
投融資事業

(1) 昭和55年度開発協力事業位置図

<p>開発基礎調査</p> <p><基礎一次調査></p> <p>① インドネシア, マレーシアサゴヤシ ② ソロモン諸島農業 ③ PNGサゴヤシ ④ チリ林業</p> <p><基礎二次調査></p> <p>⑤ インドネシアマムジュ林業 ⑥ PNGニューアイルランド林業 ⑦ PNGアニアカピウラ林業 ⑧ ブラジル南部果樹 ⑨ ブラジルオイルパーム ⑩ アルゼンチン林業</p>	<p><開発計画調査></p> <p>⑪ インドネシアバリト河上流域林業 ⑫ マレーシアマラヤ半島カカオ ⑬ タイコーヒー ⑭ PNGホスキンス地区林業 ⑮ サウジアラビア水気耕栽培 ⑯ ブラジル南部果樹</p> <p><計画打合せ></p> <p>⑰ ブラジル日伯農業 ⑱ ブラジリアマゾン林業現地実証</p> <p>投融資審査等調査</p> <p>⑲ マレーシア農業</p>	<p>⑳ インドネシア林業 ㉑ ザイール農業 ㉒ パラグアイ農業 ㉓ パラグアイ, ブラジル林業</p> <p>民間技術指導</p> <p>㉔ インドネシア ランボン農業 ㉕ インドネシア トギアン農業 ㉖ インドネシア トギアン林業 ㉗ フィリピン カガヤンデオロ林業 ㉘ ザイール とうもろこし ㉙ パラグアイ イタプア製油 ㉚ ブラジル 日伯農業</p>	<p>民間技術者受入研修</p> <p>㉛ タイ農協育成 ㉜ インドネシア, ランボン甘蔗栽培 ㉝ " P. T. パゴ薬剤分析 ㉞ フィリピン, PNG. 林業リーダー養成 ㉟ PNG大塚家具製材 ㊱ コスタリカ麗沢カーネーション栽培 ㊲ ブラジル日伯農業畑作普及</p>
--	--	---	--



(2) 開発投融資事業実績

(イ) 貸付承諾額の推移

(単位：百万円)

	農業投融資		林業投融資		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
50年度	5	578.8	8	980.9	13	1,559.7
51年度	10	2,277.0	1	215.4	11	2,492.4
52年度	7	1,678.7	3	669.1	10	2,347.8
53年度	4	360.3	6	1,448.4	10	1,808.7
54年度	4 (1)	4,785.1 (4,100.0)	2	478.0	6 (1)	5,263.1 (4,100.0)
55年度 (12月現在)	0	0	5	1,174.4	5	1,174.4

(ロ) 貸付実行額の推移

(単位：百万円)

	農業投融資		林業投融資		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
50年度	8	515.1	10	1,121.1	18	1,636.2
51年度	17	919.8	18	672.5	35	1,592.3
52年度	17	1,731.57	1.4	477.7	31	2,209.27
53年度	15	473.1	17	707.7	32	1,180.8
54年度	8 (1)	1,035.8 (492.4)	13	543.1	21 (1)	1,578.9 (492.4)
55年度 (12月現在)	5	168.0	11	590.3	16	758.3

① () は、セラー関連分で内数

6. 専門家の養成研修及び確保実績

(1) 養成研修実績

区分	分野	49年度	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度 (実績見込)	計	主要研修機関名		
長期 研修	海外	農業経済	-	-	-	1	-	-	1	レーディング大学(英) 国際小麦トウモロコシ改良センター(メキシコ), アリゾナ大学(米) 国際熱帯農業センター(コロンビア), バチュー大学(米), カリフォルニア大学(米) ユタ大学(米), 国際稲研究所(比) イースト・モーリング試験場(英) 国際土地開発改良研究所(オランダ), ネバダ大学, コロラド大学(米), ミシガン大学(米) 連邦科学産業研究所(豪), エディンバラ大学(英), 国立家畜疾病センター(米) サバ農業開発K.K(マレーシア) 熱帯林業技術センター(仏), 熱帯林業研究所(米), ネバダ大学(米), 林業林産総合研究所 (西独), 森林調査センター(仏), オーストラリア国立大学(豪)		
	畑作	-	2	2	3	3	2	3	15			
	果樹園芸	-	-	-	-	-	-	1	1			
	農業土木	1	1	-	1	1	1	3	8			
	畜産	1	1	-	-	1	2	1	6			
	油料作物	-	-	-	1	-	-	-	1			
	林業	-	3	1	1	1	1	1	8			
	計	2	7	3	7	6	6	9	40			
	国内	農業普及	-	-	-	-	1	-	-		1	神奈川県農業大学校 十勝農試, 長野県農試 熱帯農研 京都大学 福島県畜試, 家畜衛生試験場 水産庁北海道さけ・ますふ化場
	畑作	-	-	-	3	1	6	1	11			
病虫害	-	-	-	1	-	-	-	1				
農業機械	-	-	-	1	-	-	-	1				
畜産	-	-	-	-	-	-	2	2				
水産	-	-	-	-	-	1	2	3				
計	-	-	-	5	2	7	5	19				
中期 研修	海外	リーダーコース	-	-	4	3	3	2	15	Bangladesh, インドネシア, フィリピン, ビルマ, タイ, オーストラリア等における我が国の技術協力プロジェクト, 他先進国等の協力プロジェクト等		
	一般コース	-	-	7	8	10	11	13	49			
	計	-	-	11	11	13	14	15	64			
	国内	リーダーコース	13	15	11	9	10	8	8		74	事業団研修センターほか沖縄, 筑波, 内原の関係機関
	一般コース	34	35	35	38	34	37	37	250			
内 農業一般	14	15	12	11	9	12	15	88				
内 農業土木	20	10	12	14	14	13	12	95				
内 訳 林業	-	10	11	13	11	12	10	67				
計	47	50	46	47	44	45	45	324				

(2) 専門家確保実績

	49		50		51		52		53		54		55 (見込)		計									
	継	新	計	継	新	計	継	新	計	継	新	計	継	新	計	継	新	延						
特別嘱託	-	24	24	20	20	40	10	10	20	13	12	25	18	9	27	10	8	18	11	15	26			94

7. 昭和56年度予算（政府原案）について

(1) 昭和56年度国際協力事業団予算の概要

（単位：千円）

事 項 ・ 科 目	昭和55年度予算額	昭和56年度（政府原案）			備 考
		予 算 額	対前年度比増△減額	対前年度比伸率	
I 国際協力事業団交付金	5,458,503.8	6,101,057.0	6,425,532	111.8	
(1) 事業費	4,507,484.1	5,084,395.2	5,769,111	112.8	
研修員受入費	6,734,933	7,786,244	1,051,311	115.6	
専門家派遣費	6,709,142	7,385,092	675,950	110.1	
開発調査費	1,028,510.1	1,154,236.9	1,257,268	112.2	
技術協力センター費	3,431,178	3,917,531	486,353	114.2	
機材供与費	976,408	1,067,759	91,351	109.4	
保険医療協力費	3,180,000	3,532,726	352,726	111.1	
人口家族計画協力費	460,000	519,197	59,197	112.9	
農林業協力費	5,235,807	5,755,867	520,060	109.9	
専門家等福利厚生費	249,660	298,887	49,227	119.7	
専門家養成確保費	538,630	633,020	94,390	117.5	
開発協力費	680,384	706,299	25,915	103.8	
産業開発協力費	1,029,993	1,195,847	165,854	116.1	
無償資金協力促進費	69,988	85,532	15,544	122.2	
青年海外協力隊派遣費	3,720,862	4,083,074	362,212	109.7	
技術協力事業調整費	0	500,000	500,000	-	
海外移住事業費	1,772,755	1,834,508	61,753	103.5	
(2) 管理費	9,510,197	10,166,618	656,421	106.9	
II 国際協力事業団出資金	3,341,000	4,260,000	919,000	127.5	
(1) 開発投融資事業出資金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
(2) 移住投融資事業出資金	1,400,000	1,450,000	50,000	103.6	
(3) 施設取得等出資金	1,841,000	2,710,000	869,000	147.2	
III 国際協力事業団受託費	4,841,534	5,500,536	659,002	113.6	
(1) 海外開発計画調査受託費	4,741,534	5,290,536	549,002	111.6	
海外開発計画調査費	3,016,971	3,410,487	393,516	113.0	
資源開発協力基礎調査費	1,724,563	1,880,049	155,486	109.0	
(2) 東南アジア漁業開発センター費	100,000	210,000	110,000	210.0	
合 計（I + II + III）	6,276,757.2	7,077,110.6	8,003,534	112.7	

区 分	開 発 調 査 費		開 発 協 力 費	
	昭 和 5 5 年 度	昭 和 5 6 年 度	昭 和 5 5 年 度	昭 和 5 6 年 度
予 算 額	千円 10,285,101 (1,570,732)	千円 11,542,369 (1,762,501)	千円 680,384 (408,162)	千円 706,299 (416,098)
対前年度増減額	1,667,680 (193,985)	1,257,268 (191,769)	67,215 (47,220)	25,915 (7,936)
対前年度伸び率	19.4% (14.1%)	12.2% (12.2%)	11.0% (13.1%)	3.8% (1.9%)
増 減 要 因	<p>1. 農林業開発調査 (事前調査) 10件 → 15件 (実施調査) 12件 → 13件 (長期調査) 1件 → 1件 (林業資源調査) 写真撮影 1件 → 1件 図 化 1件 → 1件</p> <p>2. 水産資源調査 (陸上調査) 3件 → 3件 (沿岸調査) 3件 → 3件 (海上調査) 3件 → 3件 調査期間 120日 → 120日 (水産資源委託) 1件 → 1件</p>	<p>1. 農林業開発調査 (事前調査) 15件 → 21件 (実施調査) 13件 → 14件 (長期調査) 1件 → 1件 (林業資源調査) 写真撮映 1件 → 1件 図 化 1件 → 1件</p> <p>2. 水産資源調査 (陸上調査) 3件 → 3件 (沿岸調査) 3件 → 3件 (海上調査) 3件 → 3件 調査期間 120日 → 120日 (水産資源委託) 1件 → 1件</p>	<p>1. 調査件数 試験的事業関連 12件 → 13件 投融资審査等調査 7件 → 7件 計 19件 → 20件</p> <p>2. 民間企業等技術指導 (短期技術指導) 10件 → 12件 (長期技術指導) 2件 → 2件 計 12件 → 14件</p> <p>3. 現地従事技術者研修 (有 償) 15人 → 15人 (無 償) 10人 → 15人</p> <p>4. 現地実証調査 5,374千円</p> <p>5. 実施計画費の新設</p> <p>6. 子女呼寄せ費の新設</p>	<p>1. 調査件数 試験的事業関連 13件 → 14件 投融资審査等調査 7件 → 7件 計 20件 → 21件</p> <p>2. 民間企業等技術指導 (短期技術指導) 12件 → 12件 (長期技術指導) 2件 → 2件 計 14件 → 14件</p> <p>3. 現地従事技術者研修 (有 償) 15人 → 15人 (無 償) 15人 → 15人</p> <p>4. 現地実証調査 9,091千円</p> <p>5. 長期専門家派遣サイクルの変更 19月 → 24月</p> <p>6. 休暇一時船団の新設</p>

()内は農林三部関係予算

Vertical text or markings on the left edge of the page.

